

6月1日(日) オープン!!

障がい福祉サービス

これから



いきいきだより

<第27号>
 <編集発行> 中庄地区社会福祉協議会
 <発行責任者> 大森 強史
 <編集責任者> 大森 聡一



「え、ここが障がいの者の特長が異なる施設？」取材班の第一声は、このように驚きであった。数種類のトイレ等、機能的な設備を備えている。こままを引くのが玄関右にあるカフェスペースだ。組み合わせられた施設になった。利用者の活動は「こじは、スタッフの体態やミートイング、さらには家族や地域の方との交流スペースとして多様に活用を多く設けている点である。「障がい者といってもそれぞれの特性は全く異なるので、スペースを多数に中に入れて、吹き抜けになっており、オープン活動ができます。」とのことだ。従来の障がい者施設は考えられない珍しい造りになっている。一方で、特

障がい福祉サービスこれから
 デイサービス&ショートステイ



■生活介護事業

- 対象者 / 身体、知的、精神の障がいを持つ方 (18歳以上65歳未満)
- 定員 / 20名 (一日)
- 利用形態 / 通所型

- 対象者 / 身体、知的、精神の障がいを持つ方 (18歳以上)
- 定員 / 20名 (一日)
- 利用形態 / 通所型

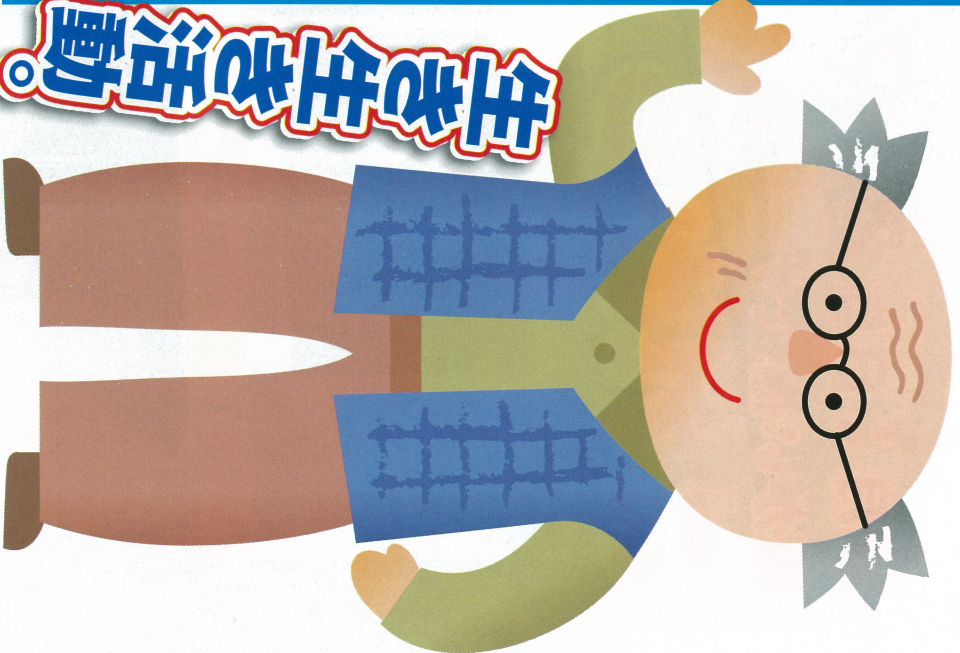
■短期入所事業 (単独型)

- 対象者 / 生活介護同様
- 定員 / 6名 (一日)

- 対象者 / 知的・発達障がいを持つ小学生
- 定員 / 各10名 (一日)

中庄地区社会福祉協議会 会長
大森 強史
 いきいきだより 編集責任者
大森 聡一
 倉敷市中庄高齢者支援センター
中村 妃登美

大森会長より重大発表!



大森会長 この度は、重大発表があるとのことですが、どういった内容でしょうか?

現在、私たちが、中庄地区社会福祉協議会は『地区の高齢者が安心して元気で暮らせる地域づくり』というのを目標に活動しています。

そこで すね、『どまんなか』をはじめとして、積極的に取り組みをさせていただきますね。

成果ですか? 皆さん元気な活動しているので十分だと思いますが、

そうじゃないんですよ、それはあくまで『印象』の話であって、僕が言う成果というのは

『数字』の話なんですよ。数字…ですか?

つまり、『どまんなか』の活動の結果、実際にどれだけ中庄の高齢者が元気であるか、ということを数字で示す必要があるのではないかということなんです。

なるほど、それはかなり語学力がありますよね。

は、『数字』の話なんですよ。数字…ですか?

数字…ですか?

つまり、『どまんなか』の活動の結果、実際にどれだけ中庄の高齢者が元気であるか、ということを数字で示す必要があるのではないかということなんです。

なるほど、それはかなり語学力がありますよね。

よって、明確な数値目標を掲げようと思っています。

そう。スバリ、倉敷市内でも高齢者が元気な地域を目指したいのです!

それはすごいですね! 具体的にどのくらいの数字になるんですか?

ちよこちゃんやこしい話になるんで、そこそこは中庄高齢者支援センターの中村さんにお話ししよう。

はい。現在倉敷市内には25箇所の高齢者支援センターがあります。

その中で、色々考えた結果、地区内の要介護認定を受けていない方の数を地区内の65歳以上の人口で割った数字が最も多い地区というのが良いと思います。

元気が高齢者の割合

現在、中庄地区は

倉敷市内25地区中

6位です。

1番を

目指すのじゃ!

つまり、仮に高齢者の数が多くても、要介護認定を受けている人は少ない地域というものが目指せようとしているんです。

なるほど。

そして、現在中庄地区は83.4%になっています。65歳以上の高齢者のうち、83.4%の人が元気な高齢者ということですよ。

これは25地区全体の中で、どのくらいですか?

はい、中庄地区は2位の地区は87.2%です。3位の地区は87.2%です。

中庄も、なかなか良い位置にいますよね。

今年から11の数字を意識して、数年以内に1位になることを目標としたい。****

中庄地区をさらに熱く!

それはすごいことですよ、ね。確かに、このように具体的に



な数字を目標にするし、やる気が出るものばかりです。ね。そんなんです。誤解を耳えんちつに言っておくが、僕は、何も要介護になっではいけない、と言っているのではないです。よ。誰かの手を貸してあげてくれるわけじゃないですからね。僕だっ。て明日は我が身ですから。ただ、地域住民が共通の、そして明確な目標を持つことで、ますますの中庄地区が活性化されるというこじに期待しているのです。

現状でも熱い中庄地区が、今後、益々熱い地区になりそうです。ね。今日はありがとござい。ました。

女性 大変よー

ケアンネ なにか？

女性 このコーナーがコミュニケーションされてるわー

ケ あら本当だねー読みやすくなってる。

女性 私たちの姿もお上品に…。ってそんなこと言ってる場合じゃないわよーおなか、まだ右側のページを読んでな

5月某日、友人の女性が訪ねてきました。

第25回 「日本一の地域？」



ケアンネの小部屋

ケ 誰んだわよ。中庄地区か
ケ 元気な高齢者率ナンバーワンを目指すって話よね。それの何が大変なの？

女性 だって、もし私が要介護になったら、中庄地区の成績が悪くなるものな気がして…。

ケ そういつ風に考えちゃうと、確かに大変ね。

女性 でしょ？ただでさえ、一人の高齢者は、高齢者の数が増えることが悪いことか、たいに言われているし。

ケ なるほど。

女性 だから、私、今から『レッシュンナー』なのよ。

ケ うん。うん。

女性 じゃあ、何のための目標なの？

ケ 中庄地区の高齢者が今後、ますます元気になるために、住民一人一人ができることと、やっていくことについてだよ。

女性 誰か元気になるものな地域を作らなくていい？

ケ その通りよ。

女性 しつこいきたわ。でも、本当に地域によって高齢者の元気に差があるの？

女性 それが、あるよ。

ケ ええ？

ケ 何か理由かは明らかでは
ないけど、地域住民同士の間
なかいや、支えあい、あるし
は気軽に相談できる体制みた
いなものは絶対に影響してい
ると、私は思っているの。

女性 ケアンネの力量も影響し
ているでしょ？

ケ ツキ^{!!}痛いとる鉄くね
ね。果はケアンネやサージュ
事業所の頑張りによっては、
要介護が要支援に改善される
こともあるよ。

女性 そういったつ口の皆さん
や地域の皆さんで協力して元
気な地域を作っていくことし
ているわね。

ケ そうね。中庄は介護施設
も充実しているし、『ごまん
なか』をはじめ地域のサロン、
も多数あって活発だから、倉
敷ナニバーフも夢ではなし
と思っねよ。

女性 どのせなら日本一を目指す
しましょ？

ケ おっー褒めしー

女性 あなだも、担当の利用者
から気合を入れて頑張るの
よー

ケ な、なんか、しつこいし
ないわ…。

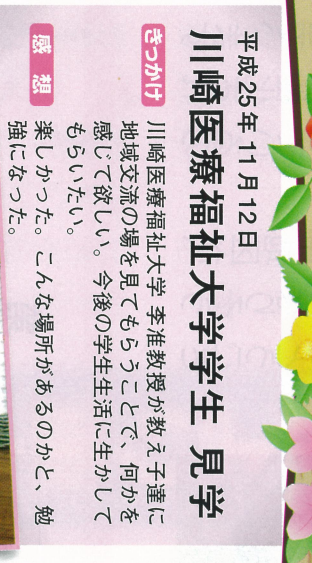
どまんなかのニュース



平成26年12月24日

香川県綾歌郡綾川町 視察

目的 「高齢者声かけ・見守り事業」実施に伴う先進地視察。
感想 とてもよかったです。ぜひ参考にしたい。私たちも自分達の地域をよくしていきたい。よう頑張ります。



平成25年11月12日

川崎医療福祉大学学生 見学

きっかけ 川崎医療福祉大学 李准教授が教え子達に地域交流の場をみてもらうことで、何かを感じて欲しい。今後の学生生活に生かしてもらいたい。
感想 楽しかった。こんな場所があるのかと、勉強になった。



平成25年7月12日

瀬戸内市裳掛地区社協 視察

きっかけ 川崎医療福祉大学から紹介を受け、裳掛再生プロジェクトの参考にしたい。
感想 とても勉強になった。持ち帰って今後に活かしていきたい。



県内外からの視察ラッシュ!! どまんなかの取り組みが大注目!!



平成26年1月20日 倉敷西地区 視察

目的 倉敷市社会福祉協議会から「どまんなか」の話を聞き、どういった活動をしているのか、実際に見て学びたい。
感想 地域の方々のつながり、ボランティアの皆さんのチームワークが素晴らしい。自分達のところでもやってみたい、出来るような気がした。



平成26年1月10日

菅生学区 視察

目的 倉敷市社会福祉協議会から「どまんなか」の話を聞いていたので、地域づくりをするうえで参考にしたい。
感想 とてもよかったです。こちらも元気をもらえた。今後の参考にしていきたい。



これだけ見学が多いということは、「どまんなか」の全国的な活動が求められているということです。今や地域福祉のモデル地区となつてある中庄ですが、それも地域の皆様のご協力と元気の賜物です。これからもよろしくお願ひします。



会長 藤原 忠文
ボランティア委員会「どまんなか」



平成26年4月18日

広島県大竹市 視察

目的 民生委員・児童委員の皆さんが、大竹市地域福祉向上のため。中庄は横のつながりが強いと感じた。運営方針・取り組みなど分かりやすく教えて頂き、大変勉強になった。地域のつながりが大切だということを、しっかりと学ぶことができた。

